

# 2月の野菜の見通し

平成31年1月31日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	8,925	少ない	11,375	173	55% ※前年の 単価は品 薄で高騰	105	-	-	神奈川・千葉産中心の出回り。これまでの前進出荷で露地物が減り、干ばつの影響でトンネル物が出遅れて2月上旬に端境となる予想。その後の出荷量は天候次第だが少なかった前年よりは多い見込み。見通し単価は95円で、高騰した前年比では4割安も平年比では若干安。
はくさい	12,466	並	11,957	164	27% ※前年の 単価は品 薄で高騰	89	-	-	主力茨城産は1月中に前進出荷となったため、2月下旬頃より出回り減少となろう。相場も底上げを見込むが平年比ではまだまだ低い水準が予想される。見通し単価は45円で、高かった前年の3割未満、平年比でも5割安い。
キャベツ	11,827	少ない	14,031	252	40% ※前年の 単価は品 薄で高騰	131	-	-	前進出荷の中での低温・干ばつが影響して小玉傾向。年内が豊作であり、輸入品も多いことから加工需要が埋められている。荷動きは引続き鈍い展開か。見通し単価は100円で、高かった前年の半値を割り、平年比でも大きく安い。
ほうれん そう	1,353	並	1,523	625	83% ※前年の 単価は品 薄で高騰	505	-	-	前進出荷と露地物の品質低下で、切り上がりを迎える産地が出てくる見込み。ハウス物の出回りは平年並みで、前年よりは増加となろう。相場推移には大きな山谷はない予想。見通し単価は520円で前年より大きく安いが平年比では若干高い。
ねぎ	3,919	少ない	4,351	428	63% ※前年の 単価は品 薄で高騰	329	29	0.7%	関東産は引続き生育順調。厳冬期に入るため、葉の3枚確保が難しく、2枚半とする産地が増える予想。販売はこれまでと変わらずやや低調か。見通し単価は270円で高かった前年より大幅に安く、平年比でも大きく安い。
きゅうり	5,004	並	4,840	366	109%	380	-	-	関東促成産地の出荷開始。増量に合わせて相場下げとなる予想。見通し単価は400円で前年・平年よりやや高い。
トマト	4,972	並	5,099	378	93%	422	-	-	熊本産は成り疲れあって1月下旬から2月上旬の出回りはやや少なめの予想。この間、相場は底上げの展開が見込まれる。他産地含めた総体の数量は前年並みから若干増となろう。見通し単価は350円で前年よりやや安く、平年比でも大きく安い。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)